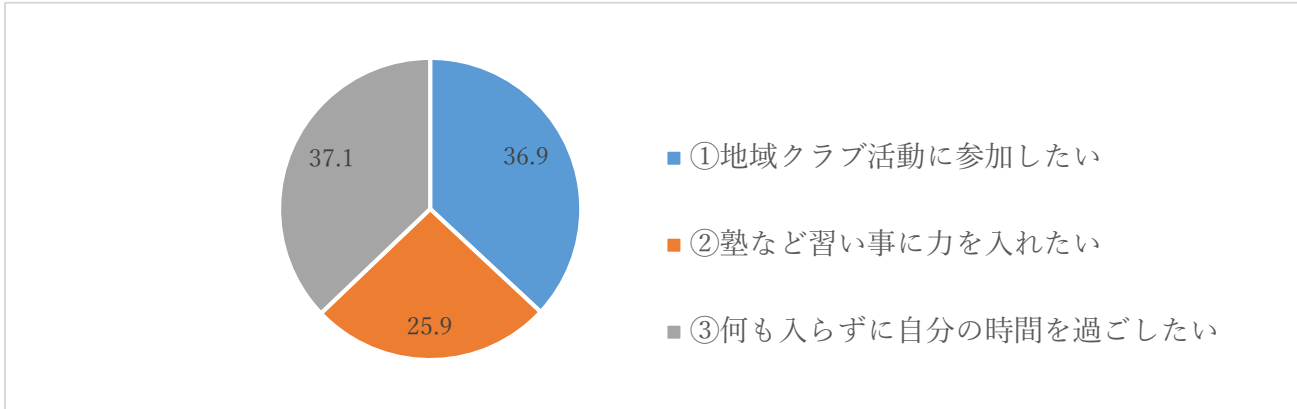


1. 休日の部活動に関するアンケート【小学生】 令和7年 1月末実施

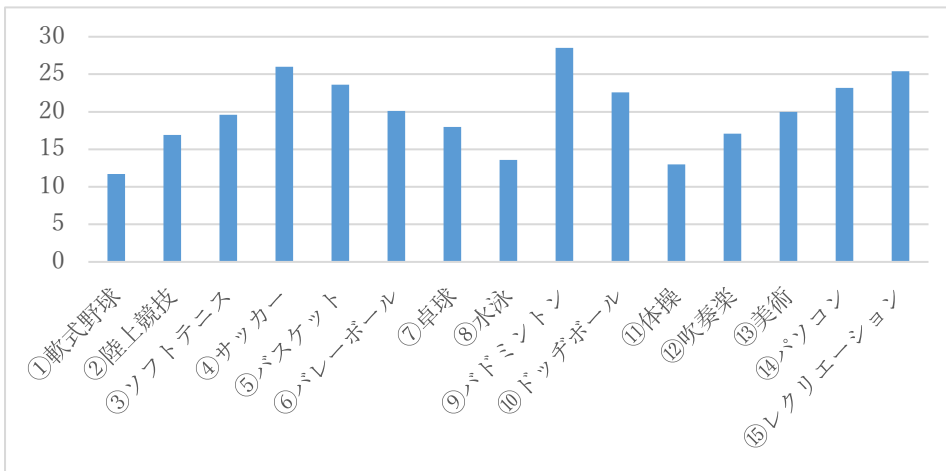
○対象:小学4年生~小学6年生

(4年生 389名 5年生 462名 6年生 499名) 回答数 1,109人(82.1%)

○質問1 中学校に入ってから、休日(土・日・祝日)の学校部活動が終了し、地域クラブ活動になった場合、あなたはどのように休日を過ごそうと思いますか。



○質問2 休日の地域クラブ活動にあったらいいと思う種目を教えてください。【複数回答可】



その他の意見

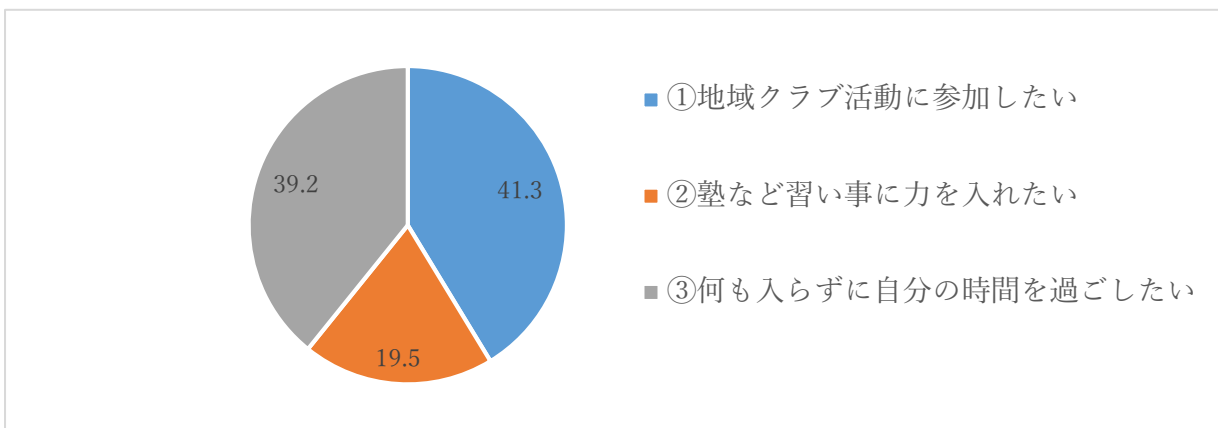
- ・柔道
- ・ソフトボール
- ・剣道
- ・硬式野球
- ・ラグビー
- ・ハンドボール

2. 休日の部活動に関するアンケート【中学生】

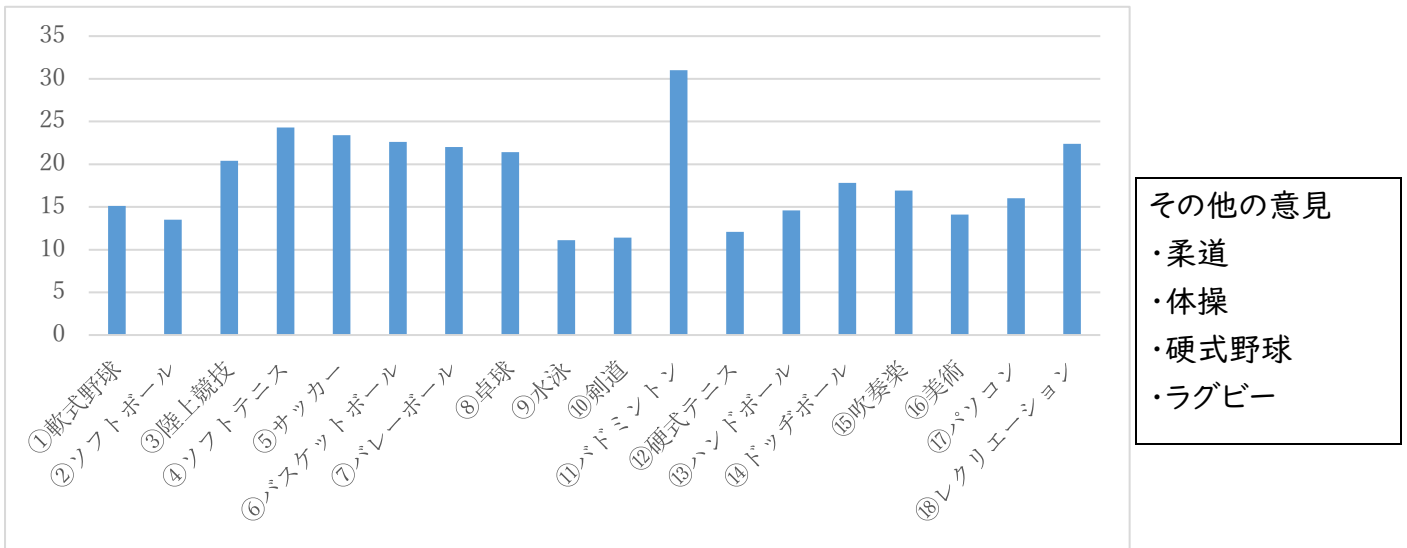
○対象:中学1、2年生

(1年生 354名 2年生 453名) 回答数 924人(87.3%)

○質問1 今後、休日(土・日・祝日)の学校部活動が終了し、地域クラブ活動になった場合、あなたはどのように休日を過ごそうと思いますか。



○質問2 休日の地域クラブ活動にあつたらいいと思う種目を教えてください。【複数回答可】

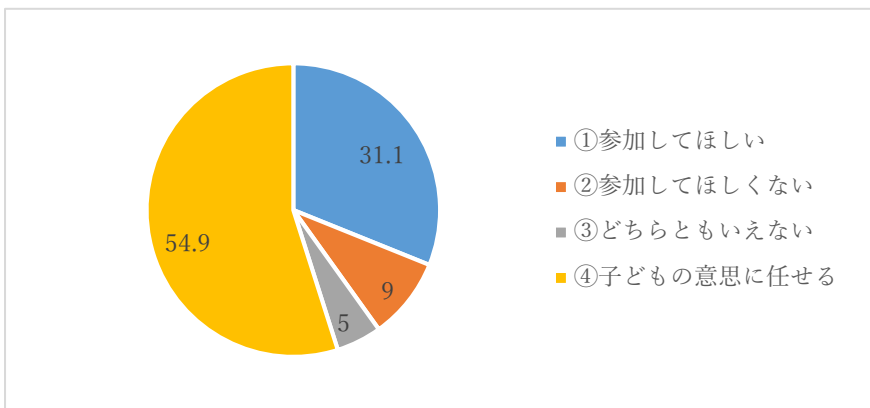


3. 休日の部活動に関するアンケート【小学生の保護者】

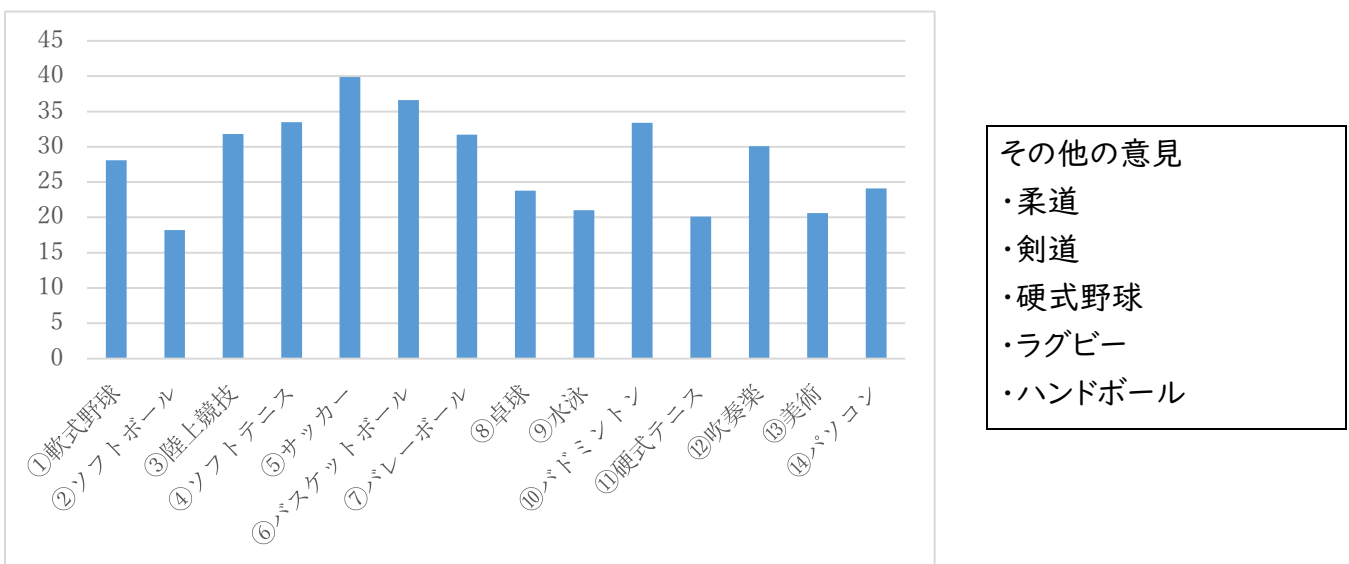
○対象：小学4年生～小学6年生の保護者

(4年生 374名 5年生 439名 6年生 499名) 回答P数 647人(49.3%)

○質問1 休日(土・日・祝日)の学校部活動が終了し、地域クラブ活動となった場合、お子さんに参加してもらいたいですか。



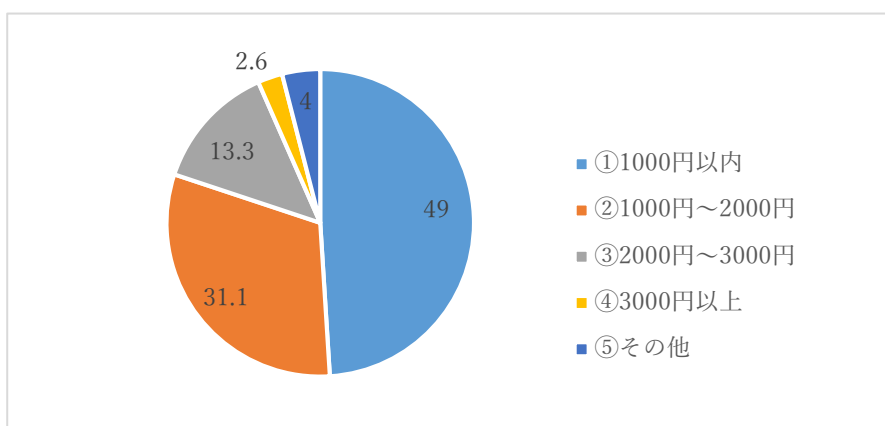
○質問2 休日の地域クラブ活動にあつたらいいと思う種目を教えてください。【複数回答可】



○質問3 休日の地域クラブ活動に期待することを教えてください。(複数回答可)(回答数647人)

- ① 専門的で丁寧な指導を受けられる。(421人)
- ② やりたい種目が選択できる。(312人)
- ③ 他校の友達ができる。(289人)
- ④ 勝敗や入賞などにこだわらず、気軽に楽しめる。(194人)
- ⑤ いろんな世代や年齢の人と一緒に活動ができる。(181人)
- ⑥ 一種目だけではなく複数の活動に参加できる。(138人)
- ⑦ より勝利を目指す活動にする。(131人)

○質問4 休日の地域クラブ活動は講師謝礼も含め、活動に必要な費用を受益者負担(参加する家庭で負担)していただくことが考えられます。そのような場合、負担額は1回(3時間程度の活動)でいくらくらいが適当ですか。



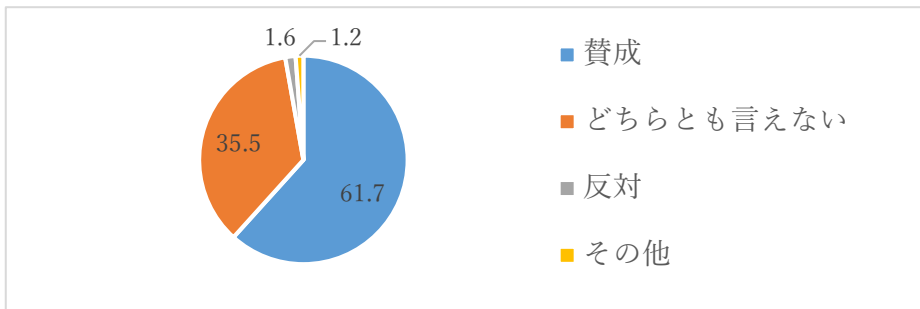
○質問5 その他(休日の地域クラブ活動について意見)

- ①教師の休日勤務の負担を軽減できるため、この取り組みに賛成です。
- ②地域クラブ活動を通じて、スポーツや文化活動に挑戦する機会が増えると思う。
- ③地域全体で子供たちの活動を支えることが大事であり、「出来ることはお手伝いしたい。」
- ④休日だけでなく平日も地域クラブ活動に移行することで、さらに効果が得られるのではないかと。
- ⑤5年生の子どもが中学生になるまでに早急に地域移行を進めてほしい。
- ⑥先生にも子どもにも休日は必要だと思います。地域が主体となるのであれば、参加自体を子どもたちが選べるといいなと思いました。
- ⑦亀山市や三重県が指導者に補助金や支援金を出す必要があると思う。
- ⑧活動に必要な費用が金額によっては家計の負担になる。

4. 休日の部活動に関するアンケート【教職員用】

○対象：市内小中学校教職員 回答数 256名（小学校 174人 中学校 82人）

○質問1 今後、休日の活動が学校主体で行われている「学校部活動」が終了し、地域が主体となる「地域クラブ活動」になることについてどう思いますか？



【賛成の理由】

- ① 地域クラブ活動に移行することで、子どもたちの活動の幅が広がり、選択肢が増える。
- ② 地域の多くの大人が子どもたちを見守ることができ、安全・安心な環境づくりにつながる。
- ③ 学校活動が地域に開かれ、コミュニティ全体で子どもたちの成長を支える体制が整う。
- ④ 単独チームを組むことが難しい場合でも、地域クラブで他校の生徒と合同で活動できる。
- ⑤ スポーツを楽しみたい生徒と、競技で勝ちたい生徒がそれぞれの目的に応じた活動に参加できる。
- ⑥ 教員の業務が減り、行事の準備や校務分掌などに時間を充てることができる。
- ⑦ 休日が増えることで、教員は家族との時間や自身の体調管理に充てることができ、職場環境の整備につながる。
- ⑧ 部活動の教育的意義は認めつつも、教員の過重労働を軽減し、新たな教育モデルを構築する必要性がある。

【反対の理由】

- ① 部活動がやりたくて教員になったので、この仕事をしている大きな意味が無くなります。
- ② 部活動は、学校教育の中の一環として行われるべきと考えているから。

○質問2 もし、休日の活動が地域クラブ活動になった場合、教師としての立場ではなく、兼職兼業の手続きを行った上で、「地域クラブ活動」の指導員として指導をしたいですか。（回答数 256人）

- ① 14.8%の38人は「地域クラブ活動」の指導に携わりたいとしている
- ② 指導したい種目の中で複数回答のあった種目は、軟式野球、陸上競技、サッカー、ソフトテニス、バスケットボール、剣道、バドミントン、ラグビー、ハンドボール、バレーボール、吹奏楽、美術です。

○質問3 地域クラブ活動の指導員の報償費は1回（3時間程度）の活動でいくらが妥当だと考えますか

